



第56回 日本看護学会学術集会

(2025年度)

テーマ

一般公募企画

身体的拘束最小化の取り組み課題と対応 —入院基本料の通則と看護関連の施設基準管理—

2024年度診療報酬改定で、入院基本料の通則は「意思決定支援」と「身体的拘束最小化」の2基準が加わり7基準になりました。特に身体的拘束最小化の主な要件は、チームの設置、指針の作成、職員への定期的な研修、拘束する場合のカンファレンスや詳細な記録などで、病院全体での取り組みは必須です。「やむを得ず」身体拘束を実施する場合の多いICU・HCU・SCU、救急等の患者や認知症、BPSD、せん妄のある患者等に対して看護職はどう取り組んだのでしょうか？ 新たな課題などについて意見交換しながら質の高い看護と医療の提供について、入院基本料を基盤とした経営的な視点も含めて議論していきます。



■日時：2025年9月13日(土) 16:20～17:20

■会場：ポートメッセなごや 第1展示館
愛知県名古屋市中区金城ふ頭3丁目2-1

■定員：300人(先着順)



座長

国際医療福祉大学大学院 教授
一般社団法人 日本施設基準管理士協会 顧問



福井トシ子氏

情報提供者

宗像水光会総合病院 看護部長
施設基準管理士

吉川朱実氏



横浜国立大学市民病院 副病院長兼看護部長
施設基準管理士

土屋恵美子氏



【主催】公益社団法人 日本看護協会

【企画】一般社団法人 日本施設基準管理士協会

第56回(2025年度)日本看護学会学術集会のご案内
<https://www.congre.co.jp/jna2025/>



第56回日本看護学会学術集会
二次元バーコード



一般社団法人

日本施設基準管理士協会

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル
TEL:03-5860-9821 FAX:03-5860-9868 E-mail:info@shisetsukijun.org